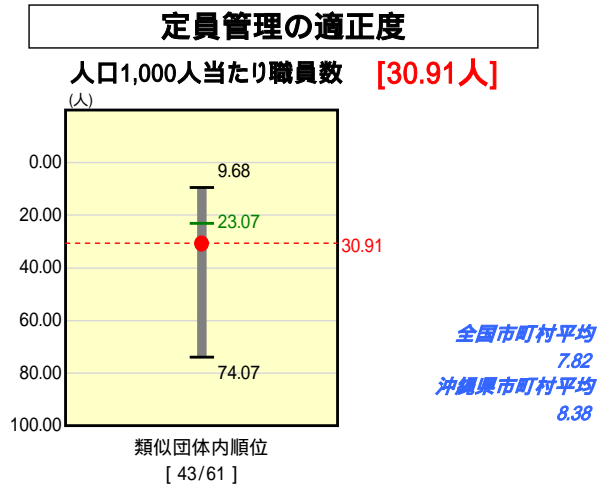
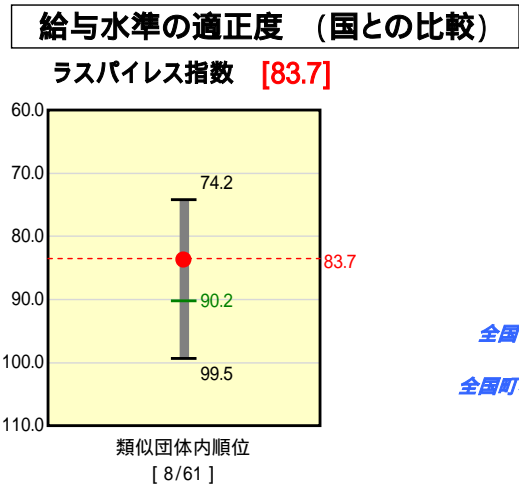
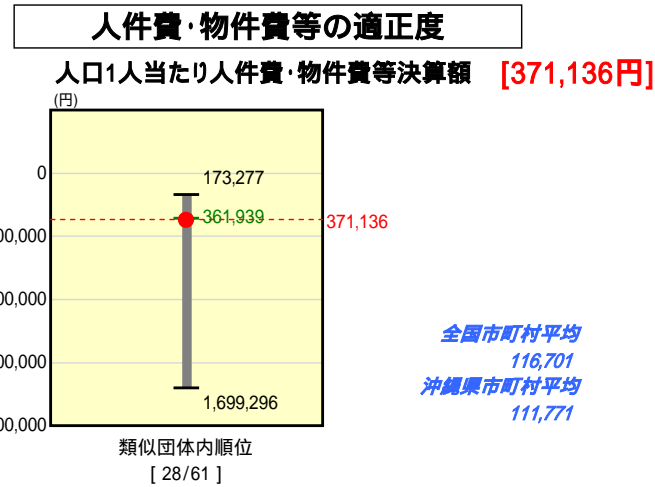
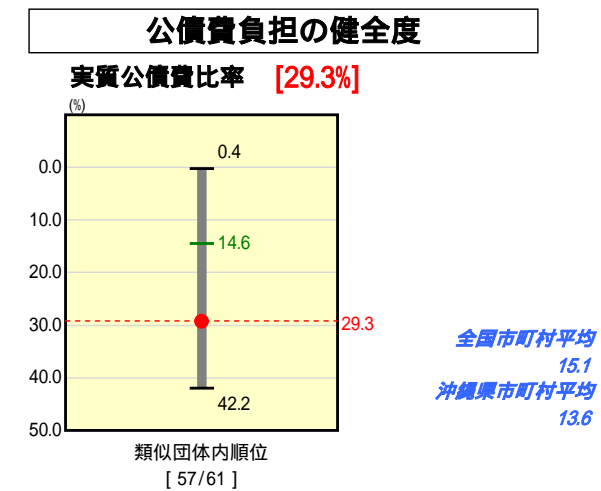
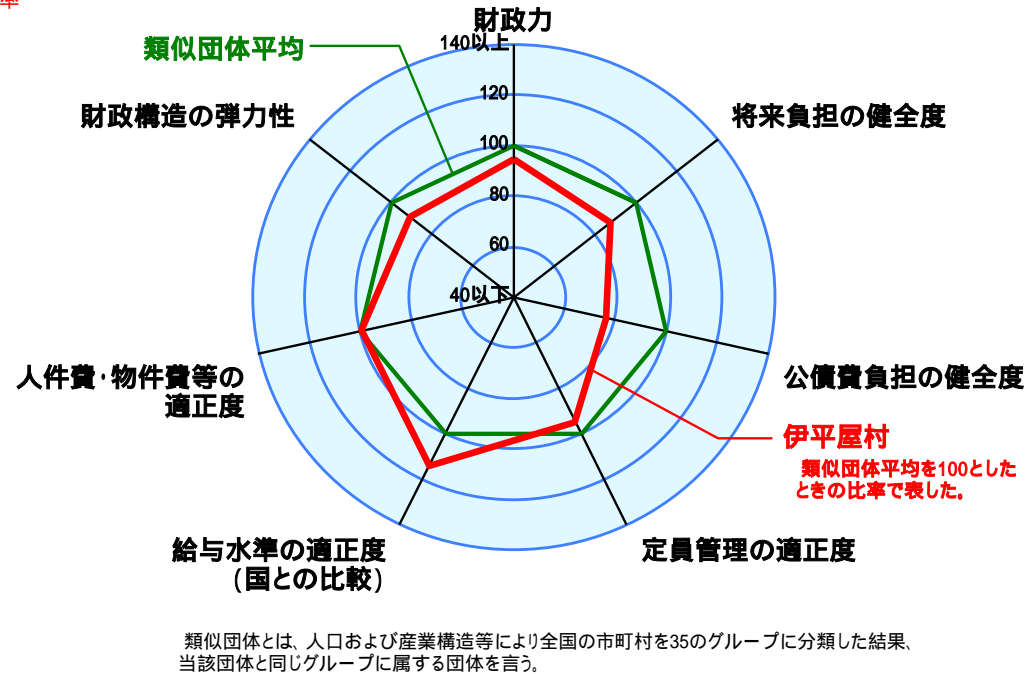
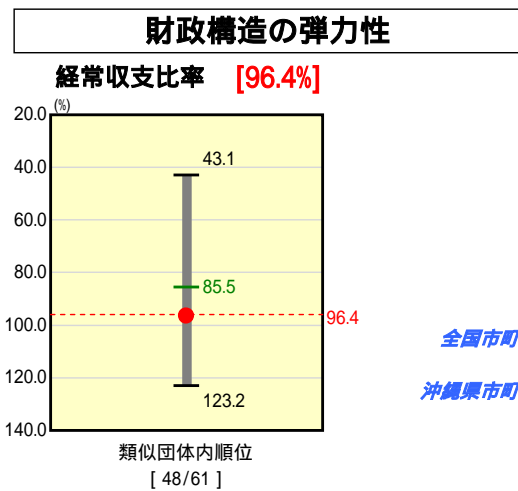
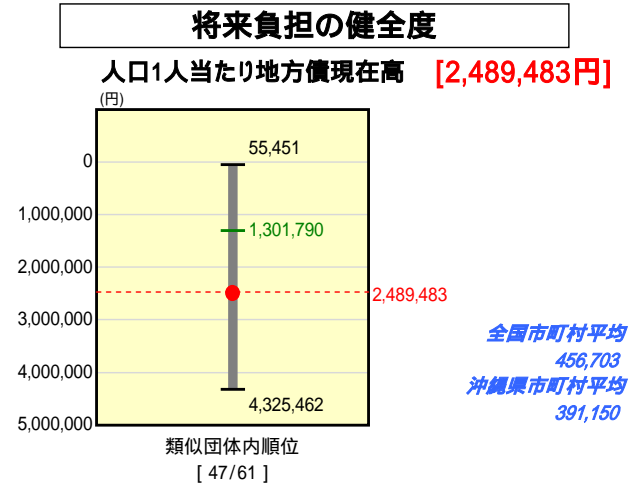
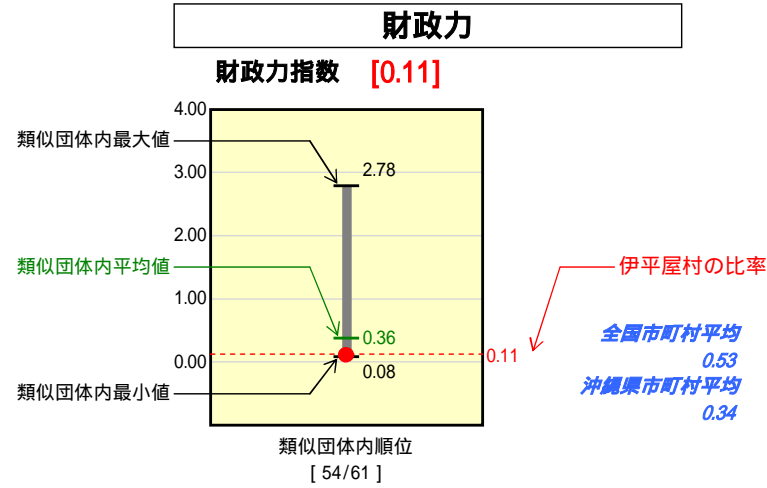


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 沖縄県 伊平屋村

|      |           |                 |
|------|-----------|-----------------|
| 人口   | 1,488人    | (H19.3.31現在)    |
| 面積   | 21.72     | km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 2,242,402 | 千円              |
| 歳出総額 | 2,197,441 | 千円              |
| 実質収支 | 40,873    | 千円              |



### 分析欄

**財政力指数:** 人口の減少や全国平均を上回る高齢化比率(19年末25.5%)に加え、財政基盤が弱く、類似団体を下回っている。歳出の徹底見直し(平成21年度までに15%の縮減)と集中改革プランに沿った諸施策を推進し、「うるおいと活気あふれる楽しい村目指して、財政の健全化を基本に行政需用に的確に対応する。

**経常収支比率:** 類似団体平均を上回っている。平成18年度は報酬カット(特別職・議員15%)期末手当カット(特別職10.0%、議員5.0%、職員5.0%)による人件費の削減で対前年比2.1%減である。しかしながら公債費が42.6%と高い水準にある。今後は集中改革プランに掲げたとおり、事務事業の見直しを進めるとともに行政改革への取組を通じて経常経費の削減に努める。

**ラスバイレス指数:** 類似団体の平均を下回っている。今後もより一層の給与の適正化に努める。

**実質公債費比率:** 普通建設事業費に係る起債の償還に伴い上昇し、類似団体平均を大幅に上回る29.3%となっている。平成21年度をピークに減少に転じるが、今後は公債費負担適正化計画に基づき新規発行債の抑制に努め類似団体平均の14.6%まで低下させる。

**人口1人当たりの地方債現在高:** 大型事業の実施、経済対策に伴う起債の増発等により、類似団体平均を大幅に上回っている。新発債については、財政健全化検討委員会に諮り、事業の縮小及び見直し等を行い今後の財政負担等を十分に勘定し徹底した計画の断行に努め、地方債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

**人口1,000人当たりの職員数:** 人口当たりの職員数を類似団体平均と比較すると、7.84人多く更なる削減が必要である。今後は定員適正化計画に基づき定年退職者の不補充を行い、今後3年間に5.8%(4人)を削減する。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 類似団体平均と比較して、同水準であるが、施設の維持管理等が増大する傾向にあり、今後はこれらも含めた経費について、抑制していく必要がある。